





- \* お支払い後のキャンセルはできません。
- \* 無断での複写、画面撮影、上映、レンタルすることは固くお断りします。
- \* 受講料には送料が含まれています。
- \* 金額には消費税が含まれています。
- \* 藝文友の会会員様限定で受講料がお得になる【おまとめ割】をご用意しました。ぜひご利用ください。


講座名	<b>New ! 海の民俗信仰 I・II (2講座)</b> <2023年10月期>	
受講料	会員 各 1,870 円	*【おまとめ割】2講座セット 3,300円(藝文友の会会員限定)
	一般 各 2,420 円	
講師名	徳丸 亜木 (筑波大学人文社会系教授)	
	I.海の民俗信仰～船霊と女性～ /84分	
	II.海の民俗信仰/105分	
講座内容	<p>日本の漁民には豊漁を招く&lt;漁運&gt;に対する意識が見られます。船霊は、漁民が信仰する船の神霊ですが、北茨城では妊娠した女性の毛髪を豊漁を招くとして船霊のご神体とする例が聞かれます。また、エビス様は、大漁や商売繁盛を招く神、あるいは七福神の一柱として日本で広く信仰されている神様ですが、一方、漁民には漂流遺体をエビスと称して、それを拾い上げると大漁となるとする伝承も聞かれます。この講座では、漁民に見られる&lt;漁運&gt;の観念について、船霊信仰やエビス信仰、あるいは妻である女性の活力が夫の船の漁獲に影響を与えるとする例などを取り上げ、日本の民俗におけるハレ・ケ・ケガレの観念などから漁民信仰の特徴を読み解いていきます。</p>	


講座名	<b>いばらきの古墳 I・II・III (3講座)</b> <2023年4月期>	
受講料	会員 各 1,870 円	*【おまとめ割】3講座セット 4,620円(藝文友の会会員限定)
	一般 各 2,420 円	
講座内容	<p>茨城県内の代表的な古墳を取り上げ、全国の古墳文化と比較、検証し、その特徴や謎に迫ります。Iは古墳文化の概要を、II・IIIは県内の各古墳について解説します。</p> <p>I.茨城県の古墳とその文化 /84分 講師 田中 裕(茨城大学教授)</p> <p>II.①磯浜古墳群(大洗町)/43分 講師 蓼沼 香未由(大洗町教育委員会) ②舟塚山古墳(石岡市)/36分 講師 谷仲 俊雄(石岡市教育委員会)</p> <p>III.①三味塚古墳(行方市)/52分 講師 小澤 重雄(茨城県立歴史館) ②虎塚古墳・十五郎穴横穴古墳群(ひたちなか市)/41分 講師 稲田 健一(ひたちなか市埋蔵文化財調査センター)</p>	


講座名	柳田國男と祖霊信仰論<2022年10月期>	
講師名	徳丸 亞木 (筑波大学人文社会系教授)	
受講料	会員 1,870 円	
	一般 2,420 円	
講座内容 (73分)	この講座では、柳田國男の祖霊信仰論において、埋葬地と祭地を別にする「両墓制」や、森を聖地とする「森神信仰」がどのように理解されたかについて、幕末の復古神道国学者が示した靈魂観とも比較してお話します。	


講座名	芭蕉・蕪村・一茶が訪れた茨城 一名句が詠まれた足跡をたずねる<2022年10月期>	
講師名	二村 博 (群馬県立女子大学 文学部国文学科 准教授)	 (結城市 結城城跡公園内句碑)
受講料	会員 1,870 円	
	一般 2,420 円	
講座内容 (40分)	芭蕉が鹿島で詠んだ句、蕪村が結城に遺した詩、一茶が小川(小美玉市)の本間家に訪れて詠んだ句を鑑賞しその背景を紹介します。	


講座名	はじめての超ひも理論<2022年10月期>	
講師名	坂元 眞一 (サイエンス・メディア・ラボ科学コミュニケーター)	
受講料	会員 1,870 円	
	一般 2,420 円	
講座内容 (40分)	「世界は“ひも”でできている」この斬新な考え方を、イラストをふんだんに使ってやさしく解説します。超ひも理論がわかれば、皆さんの自然観も大きく変わるかもしれません。	


講座名	茨城の城・城郭 中世城下都市・水戸の成立<2022年4月期>	
講師名	藤井 達也 (水戸市立博物館学芸員)	
受講料	会員 1,870 円	
	一般 2,420 円	
講座内容 (53分)	戦国時代末、佐竹氏が水戸に拠点を移してから、水戸は常陸国の中心地になります。しかし、そもそもなぜ佐竹氏は水戸を選んだのでしょうか。本講座では、佐竹氏以前の江戸氏時代の水戸に焦点を当て、これまで不明であった中世城下都市・水戸の姿を明らかにします。	

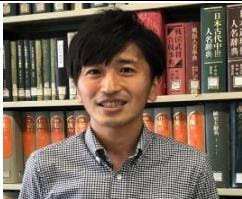
講座名	茨城の城・城郭 近世水戸城史Ⅰ・Ⅱ(2講座)<2022年4月期>	
受講料	会員 各 1,870 円	*【おまとめ割】2講座セット 3,300円(藝文友の会会員限定)
	一般 各 2,420 円	
講師名	関口 慶久 (水戸市教育委員会歴史文化財課副参事兼課長補佐)	
講座内容	<p>【Ⅰ】1:水戸城の概要 2:水戸城の構造と建物(58分)  【Ⅱ】3:近世水戸城の発掘調査 4:水戸城歴史的建造物の復元(64分)  水戸徳川家の居城・水戸城は、全国有数の広大な土造りの平山城でした。本講座では、近世の水戸城の歴史や構造について、最新の成果をもとに、実際に歩きながら解説します。また、大手門・二の丸角櫓・土塀の復元についてもご紹介します。</p>	


講座名	茨城の城・城郭 小田城と小田氏<2022年4月期>	
講師名	つくば市教育局文化財課	
受講料	会員 1,870 円	
	一般 2,420 円	
講座内容 (38分)	<p>小田城は鎌倉時代から戦国時代に茨城県南部で最大の勢力を誇った小田氏の居城です。20年にも及ぶ発掘調査によって明らかとなった城跡の構造や小田氏の歴史を学びます。</p>	


講座名	茨城の歴史の道～水戸道中と宿場町Ⅰ・Ⅱ(2講座)<2021年10月期>	
受講料	会員 各 1,870 円	*【おまとめ割】2講座セット 3,300円(藝文友の会会員限定)
	一般 各 2,420 円	
講師名	小野寺 淳 (神奈川大学特任教授、大洗町幕末と明治の博物館館長)	
	Ⅰ. 取手-藤代-若柴-牛久-荒川沖-中村 Ⅱ. 土浦-中貫-稲吉-府中-竹原-堅倉-小幡-長岡-水戸	
講座内容 (57分)	<p>江戸日本橋から千住宿(現:北千住)で日光道中と分かれ、さらに新宿(現:葛飾区)で佐倉道と分かれて水戸に至る水戸道中。道の形成や宿場、本陣などの歴史を学びます。</p>	

講座名	文化財曝涼・公開2021～笠間市編<2021年10月期>	
受講料	会員 各 1,870 円	*【おまとめ割】2講座セット 3,300円(藝文友の会会員限定)
	一般 各 2,420 円	
講師名	小島 久典 (東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻助教)	
講座内容 (50分)	隔年毎に実施されている笠間市の文化財公開。市内のご宝物を間近で拝観できる機会となっています。今回は特に、県の重要文化財である仏像を中心にご紹介します。	
講座名	文化財曝涼・公開2020～常陸太田市編<2020年10月期>	
紹介している文化財	香仙寺 直牒洞(県指定文化財) 菊蓮寺 千手観音像(県指定文化財)ほか 中染阿弥陀堂 鑄造阿弥陀如来立像(国指定重要文化財)	
講座内容 (40分)	常陸太田市で毎年10月に実施されている「文化財曝涼・公開」。市内の神社仏閣のご宝物が間近で拝観できる機会となっています。今回は数あるご宝物の中から仏像を中心にご紹介します。仏像の特徴やお寺の歴史を学びます。	


講座名	大子町の文化遺産～大子漆<2021年10月期>	
講師名	辻 徹 (漆芸家)	
受講料	会員 1,870 円	
	一般 2,420 円	
講座内容 (58分)	1万年以上も昔の縄文時代から使われている漆。その歴史をたどりながら、高品質な大子漆の生産と、漆器づくりについて解説します。	

講座名	記録からひもとく茨城の近代黎明期Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(3講座)<2021年4月期>	
受講料	会員 各 1,870 円	*【おまとめ割】3講座セット 4,620円(藝文友の会会員限定)
	一般 各 2,420 円	
講師名	宮間 純一 (中央大学文学部准教授)	
	I. 難治県茨城と常磐神社の創設(75分) II. 公議・公論と近代黎明期の茨城県政(78分) III. 文明開化と民衆の生活(65分)	
講座内容	明治政府が編纂した「府県史料」などの記録をよみながら明治初年の茨城県を考えます。	

講座名	<b>「身の回りの数学発見」</b> —常陽史料館貨幣ギャラリーで数学を見つけよう<2021年4月期>	
講師名	渡邊 信 (元東海大学数学科教授、(公財)日本数学検定協会常務理事)	
受講料	会員 1,870 円	
	一般 2,420 円	
講座内容 (48分)	江戸時代のソロバンでは16進法の数が計算でき、金貨は4枚で小判1枚の4進法。そして現代のコンピューターは2進法。数学のヒントが隠されています。	

講座名	<b>茨城の聖徳太子信仰&lt;2021年4月期&gt;</b>	
講師名	後藤 道雄 (茨城大学五浦美術文化研究所客員所員、美術史家)	
受講料	会員 1,870 円	
	一般 2,420 円	
講座内容 (50分)	聖徳太子への信仰は、平安時代末頃から盛んになり、鎌倉時代になると真宗の開祖親鸞や南都西大寺律宗の叡尊、その弟子忍性などの布教で各地に広まりました。茨城は親鸞や忍性が居住したことで特にこの地の風土とそこに生きた人々のなかに太子への信心が育まれ、数多くの太子像や太子絵伝が遺り、全国的にも特色があります。そのなかから、時代をさかのぼる作品を制作背景を考えながら解説します。	

講座名	<b>幕末の政治 I・II・III (3講座)&lt;2020年10月期&gt;</b>	
受講料	会員 各 1,870 円 *【おまとめ割】3講座セット 4,620円(藝文友の会会員限定) 一般 各 2,420 円	
講師名	宮間 純一 (中央大学文学部准教授)	
	I. 開国と公議(50分) II. 攘夷運動の展開(50分) III. 政権交代と社会(55分)	
講座内容	幕末維新の政治史を同時代の社会の動向にふれながら解説します。ペリーが来航した1853年から、将軍から天皇への政権交代が実現する1868年までを通してみることで、近代のスタートとされる明治維新を再検討します。	

講座名	<b>茨城の歴史の道～南郷道を歩く～&lt;2020年10月期&gt;</b>	
撮影協力	常陸大宮市文書館 常陸大宮市歴史民俗資料館	
受講料	会員 1,870 円	
	一般 2,420 円	
講座内容 (46分)	中世の依上道を原形とし、水戸から久慈川沿いに瓜連・大宮を経て奥州と至る古道・南郷道。峠や川沿いの道など難所の多い道ながら、生活に密着して利用されてきました。常陸大宮市から大子町までの道筋を映像で辿ります。	